

pigeon

60
years

第59期 報告書

平成27年2月1日～平成28年1月31日
(証券コード:7956)

CONTENTS

- P.01 トップインタビュー
- P.03 事業のご紹介
- P.05 世界各国の育児事情
- P.06 世界のピジョンからこんにちは!
- P.07 当連結会計年度の経営成果
- P.08 主な経営指標
- P.09 トピックス、会社概要
- P.10 株式の状況など

公益社団法人 発明協会
第37回 未来の科学の夢絵画展

幼稚園・保育園の部 優秀賞

『フラワーメロディ自転車』

千葉幼稚園(青森県)
伊藤 帆乃花ちゃん

HEART REPORT

ピジョン[ハートレポート]



経営理念は「愛」 社是は「愛を生むは愛のみ」

代表取締役社長

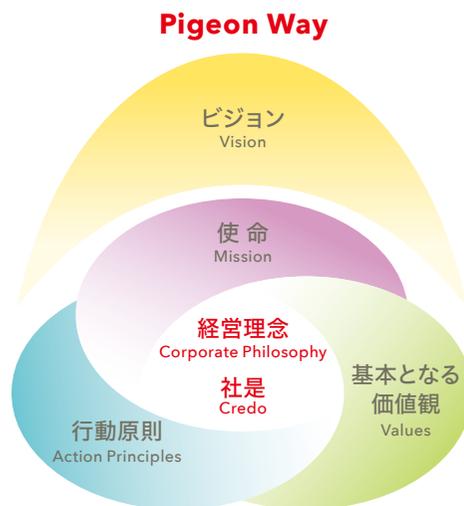
山下 茂



Pigeon Way

Pigeon Wayとは

Pigeon Wayは、私たちの“心”と“行動”の拠り所であり、すべての活動の基本となる考え方です。



■ 経営理念

—強く信じる経営の根本の考え

「愛」

■ 社是

—経営理念を端的に表現したもので、各人が仕事をする際にいつも大切にし、同時に振り返るためのもの

「愛を生むは愛のみ」

■ ビジョン

—目指す理想の状態、到達したい姿

世界中の赤ちゃんにご家族に最も信頼される育児用品メーカー
“Global Number One”

■ 使命

—どのような形で社会に貢献するのか、また、何のために働くのかを約束するもの

「愛」を製品やサービスの形にして提供することによって、
世界中の赤ちゃんにご家族に喜び、幸せ、そして感動をもたらすこと

■ 基本となる価値観

—社員一人ひとりが大切にすること

- 誠実 (Integrity)
- コミュニケーション・納得・信頼 (Communication, Consent, Trust)
- 熱意 (Passion)

■ 行動原則

—我々のすべての行動のベースとなり、ガイドとなるもの

- 迅速さ (Agility)
- 瞳の中にはいつも消費者 (Keep sight of consumers)
- 強い個人によるグローバルコラボレーション (Global collaboration among competent individuals)
- 主体性と論理的な仕事の仕方 (Leadership and logical working style)
- 積極的な改善・改革志向 (Willingness to change)

当期は引き続き増収増益を達成

当期は、海外事業や国内ベビー・ママ事業の業績拡大により、売上高は前期比9.6%増の922億9百万円、営業利益は同13.6%増の145億21百万円、当期純利益は同20.7%増の101億97百万円と、引き続き増収増益を達成しました。

国内市場は、出生数が前年より増加(厚生労働省「平成27年人口動態統計の年間推計」)するなど少子化に下げ止まり感も見られました。その中で、当社の国内ベビー・ママ事業では、2015年1月の発売以降、急速にシェアを拡大したベビーカー「Runfee(ランフィ)」や、主力の哺乳びん・乳首、ベビースキンケア、ベビーフード等の売上増などが貢献し、売上高は280億53百万円(同14.8%増)、セグメント利益は43億83百万円(同16.8%増)となり、大変好調に推移しました。ベビーカー、チャイルドシートといった大型商品は、新しい売上の柱となるべく育ててきた分野ですが、ベビーカーで実績を出せたことは大変うれしく思っています。

海外事業では、「ランシノ」ブランドで展開する北米および欧州での業績が順調に伸長し、売上高は252億34百万円(同8.0%増)、セグメント利益は55億79百万円(同12.3%増)で増収増益となりました。欧米ではすべての商品カテゴリーで販売を伸ばしましたが、とりわけ大きな伸びを見せたのがさく乳器です。さく乳器は、市場規模としては哺乳びん等のベビーアクセサリーカテゴリーの中では最も大きく、乳首クリーム、母乳パッド、母乳バッグといった全米No.1シェア商品に続く、次の柱となる商品へと成長させていきます。

中国事業は当連結会計年度より、韓国、台湾、香港、フィリピン、ロシア等の地域における事業の管轄が海外事業本部より移管されたことに加え、継続的なマーケティングおよび販促普及活動による哺乳びん・乳首カテゴリーの売上伸長により、売上高は316億88百万円(同20.5%増)、セグメント利益は85億86百万円(同14.1%増)で増収増益となりました。

また、子育て支援事業は売上高67億57百万円(同0.5%増)、セグメント利益1億48百万円(同21.7%減)、ヘルスケア・介護事業は売上高64億99百万円(同3.9%減)、セグメント利益1億40百万円(同46.1%減)となりました。

中国事業は、依然、高収益性を確保

中国は、経済全体の減速懸念から、株式市場にも大きな影響が出ていますが、中国の消費者の購買力は決して低下していないというのが我々の実感です。2002年に本格参入して以来、当社の中国事業は中国のマクロ経済の影響をほとんど受けることなく成長を続け、いまや当社の連結売上高の約3割を占める柱の一つとして、収益面でも大きな貢献をしています。当期より新たに中国事業の管轄下に移管された地域(韓国、台湾、香港、フィリピン、ロシア等)を除いた純粋な中国市場でのビジネスにおいても、引き続き高い収益力を維持しています。

一方、中国での大きな環境変化としてとらえているのが、インターネット販売(EC)の飛躍的な伸長です。ECは、我々がターゲットとする20~30代の若年層を中心に大きく伸び続けており、これまでのベビー専門店を通じた販売に加えて、このECへの取り組みも積極的に進めていくことで、中国事業はさらなる飛躍が期待できると確信しています。

今期の重点施策は、中国のEC、欧米のさく乳器、国内ベビー・ママの大型商品

今期の業績見通しは、売上高950億円、営業利益150億円、当期純利益104億円を計画しています。今期は第5次中期経営計画の最終年度として着実に重点施策を遂行していくと同時に、次期中期経営計画の策定にも着手します。

次の3年を見据え、今期、重点的に注力するのは、中国のEC

拡大に対応した流通体制の構築、欧米でのさく乳器拡大に向けた施策、そして国内ベビー・ママ事業におけるベビーカーやチャイルドシートなどの大型商品の強化です。中国での消費拡大のけん引役である若年層を取り込むため、ECへの積極的な取り組みは欠かせません。また、欧米でシェアを伸ばしているさく乳器は、新しい柱となる商品へと育成していきます。そして、国内の大型商品の中で、飛躍的にシェアを伸ばしたベビーカーは、シェア20%という高い目標に向けて引き続き注力し、同時に、チャイルドシートなどの他の商品の育成にも力を入れていきます。

海外市場では、中国に続く市場として、欧米およびインドの成長に期待しています。欧米の売上はすでに100億円を超える規模にまで成長してきており、特に欧州で販売地域の拡大、また2017年1月にはトルコでの新工場の稼働開始も予定しており、生産体制も整え、さらに事業を拡大してまいります。また、インド工場では昨年5月より哺乳びん・乳首の生産を開始しており、インド国内のみならず周辺国向けの生産拠点としての役割も果たすことも視野に入れ、事業を展開していきます。

真のグローバルカンパニーとなるために組織体制も強化

海外展開を加速していく中で、ピジョングループ全体がグローバルで同じ物差し・判断基準を共有するために、ピジョンの「経営理念(Corporate Philosophy)」「社是(Credo)」「使命(Mission)」「基本となる価値観(Values)」「行動原則(Action Principles)」「ビジョン(Vision)」をまとめた『Pigeon Way』を制定し、早2年が経ちました。私自身や役員が各拠点を回って『Pigeon Way』の意味や込められた思い、目的などを説明・議論していくことで、グループ内での理解・浸透はかなり図られてきたと思います。また『Pigeon Way』をスローガンだけにとどめることなく、個々人の仕事の中にも取り込むことで、日々の業務でもさまざまな意思決定が共通の判断基準でなされるようになり、ひいては全体最適視点へとつなげていくことができると考えています。

組織体制の面では、次期中期経営計画の策定において、経営企画、経理財務、人事総務の各本社部門がグローバルヘッドオフィス(GHO)としての機能・役割を明確にし、グローバルでの全社戦略の推進を担い、また日本・中国・欧米・アジアの各地域で分けた戦略事業体(ストラテジックビジネスユニット: SBU)の構築・始動に向けて、市場に近いところで迅速に意思決定が行えるよう現時点から権限規程の明確化と権限委譲を進めています。真のグローバルカンパニーへと成長

を遂げていくために、GHOを中心に我々グループ内に蓄積された情報知識・ノウハウの共有化をしっかりと進め、組織体制の強化を図ってまいります。

ガバナンスもより一層強化

役員体制も今回の株主総会決議を経てさらに強化されました。社外取締役は、これまでの新田孝之氏に加え、鳩山玲人氏が加わり2名体制となりました。新田氏からは、すでに投資家視点での経営に対するチェックに加え、豊富な知見からさまざまなアドバイスを頂戴し、取締役会の議論が活発になっています。新たに海外での事業経験が豊富な鳩山氏が加わることで、当社のグローバル展開のさらなる強化につながると期待しています。またランシノ社のCEOであるKevin Vyse-Peacock氏も新たに社内取締役に加わっておりますので、今期策定予定の第6次中期経営計画においても、真のグローバルカンパニーへ向けて、新しい知見を存分に取り込んでいきたいと思っております。

ガバナンス体制については、「ビジョンの企業価値向上に資するかどうか」を軸に、取締役会の陣容の強化を進めていますが、一方で、女性取締役の不在などダイバーシティの観点での課題も認識しています。社外では現時点で適任な女性取締役の方を見つけられていませんが、社内では管理職全体の約2割を女性が占め、その女性管理職のうち4割は部長職と、女性社員の育成・登用も進んでおり、数年内にこの課題を解決したいと思っています。

株主還元策について

利益の還元については、将来の成長に向けた投資を優先した上で、連結総還元性向45~50%の範囲で株主の皆様へ還元することを第5次中期経営計画の方針としています。当期末の1株当たり配当金は22円(連結総還元性向49.3%)とさせていただきます。

当社は、東京証券取引所主催の「第4回 企業価値向上表彰」で大賞を受賞するなど、私自身、大変うれしい出来事もありました。今後もピジョンの企業価値向上に向けて、精一杯尽力してまいりますので、株主の皆様におかれましては、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。

国内ベビー・ママ事業



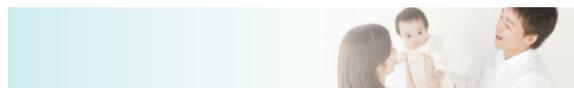
- 哺乳関連用品
- 離乳関連用品
- スキンケア用品
- 女性ケア用品
- その他ベビー、ママ関連用品
- ベビー大型用品

● 事業環境と当社の強み

2015年の日本における出生数は約100.8万人(厚生労働省「平成27年人口動態統計の年間推計」と、2014年から約0.4万人増加しており、下げ止まり感が見られました。そのような中、半世紀にわたる哺乳研究や乳幼児発達研究を基に、赤ちゃんの成長過程を深く掘り下げ、育児の“お困りごと”を見出すことから開発した多数の高品質な商品を生み出してきたところに、ピジョンブランドの優位性があります。ピジョンブランドは、業界でのリーディング・カンパニー、そして極めて強いリーディング・ブランドとして広く認知されています。さらに、今後はベビーカーを中心とした大型商品にも注力し事業を拡大していきます。



子育て支援事業



- 保育サービス
- 事業所内保育運営受託
- 託児
- イベント保育サービス
- 幼児教育サービス

● 事業環境と当社の強み

子どもは欲しいが働き続けたい、育児をしながら復職したいという女性は増加しており、当社への期待、果たす役割も大きく、子育て支援事業の展開には追い風が吹いています。

育児用品で培った「安全・安心・信頼」のピジョンブランドのもと、「子どもの育ちを第一に」との考えに沿って本事業を推進し、国内トップクラスの事業規模と質の高いサービス提供により、皆様から信頼を得ています。

今後も、人材育成システムの充実、サービス内容の拡充を進め、保育品質のさらなる向上を図ります。



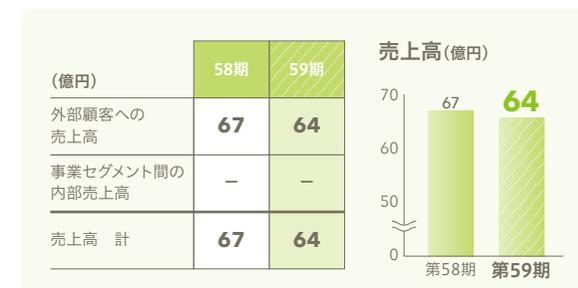
ヘルスケア・介護事業



- 介護用品
- 老化予防用品
- 介護支援サービス

● 事業環境と当社の強み

総人口が減少する中で急速に高齢化も進み、団塊の世代(1947年から1949年に生まれた世代)が65才以上となった2015年には、高齢者人口は3,384万人(総務省統計局)、総人口に占める高齢者の割合を示す高齢化率は26.7%と、4人に1人が高齢者という時代になりました。増え続ける介護給付費用に対し、国の介護制度も、2015年を機に、介護保険の自己負担の増加や特別養護老人ホームへの入居条件の引き上げなど、介護の形態を施設から在宅介護へとする方針の具現化が進みました。これらを背景に、市場規模は着実に拡大しており、当社は引き続き、競争優位性のある新商品投入や介護サービスの品質向上などの施策を徹底していきます。



海外事業

○ベビー、ママ関連用品

展開エリア

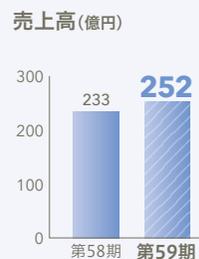
北米 …アメリカ・カナダ 他
欧州 …イギリス・ドイツ・ベルギー 他
中近東…アラブ首長国連邦・トルコ 他
アジア …シンガポール・インド 他
(中国事業展開エリアを除く)
その他…南アフリカ・南米 他

● 事業環境と当社の強み

海外事業については、展開エリアとして、北米(アメリカ・カナダ他)、欧州(イギリス・ドイツ他)、中近東(アラブ首長国連邦・トルコ他)、アジア(シンガポール・インド他)、その他(南アフリカ・南米他)となっています。米国の出生数は、経済先進国の中では比較的安定した水準にあり、ピジョンは、米国および欧州への営業展開の基盤として、2004年4月に米国ヴァージニア州に拠点を持つLANSINOH LABORATORIES, INC. (「ランシノ社」)を100%グループ会社化し、イギリス・ドイツ等欧州への事業拡大を進めています。また、2014年1月から哺乳びんの本格的な販売を開始するなど、商品カテゴリーの拡充を図りながら、ブランド強化を進めていきます。一方、アジアではタイの生産拠地の拡充に続き、インドでの流通体制の構築や販売店舗の拡大を推し進め、さらに2015年5月には、哺乳びん・乳首のインド生産工場からの出荷も開始し、さらなる収益改善を目指しています。今後は、欧米での事業拡大が進んだランシノ社による販売を強化するとともに、新興国での展開もさらに進めていきます。



(億円)	58期	59期
外部顧客への売上高	191	184
事業セグメント間の内部売上高	42	68
売上高 計	233	252



中国事業

○ベビー、ママ関連用品

展開エリア

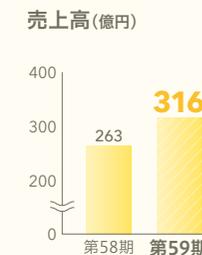
中国、韓国、台湾、香港、フィリピン、ロシア 他

● 事業環境と当社の強み

ピジョンは、2016年に中国市場への本格的参入14周年を迎えました。年間出生数が1,500万~1,700万人で日本の14~16倍といわれている巨大市場の中で、いわゆる「新富裕層」と呼ばれる世帯を主要ターゲットに、哺乳びん・乳首、トイレタリー、高級スキンケア商品を中心に新しいライフスタイルの提案を実施しています。また、現地に根づいているパートナー企業の販売網を通じてピジョンブランドの認知・浸透を図ってきたことで、ピジョン商品の品質とブランドは極めて高い評価を得ています。中国ではすでに500種類以上の商品を市場に展開しており、沿岸主要都市部では新富裕層の増加による高級志向の需要に応じて、さらに高価格帯の商品を提供しています。ここへきて経済成長率の鈍化は見られるものの、これまで非常に速いスピードで経済成長を続けてきた中国市場において、高品質と安定した価格による対面販売の徹底に加え、消費者のEコマースへの購買シフト対応にも力を入れることでさらなる事業拡大を進めていきます。



(億円)	58期	59期
外部顧客への売上高	257	311
事業セグメント間の内部売上高	5	4
売上高 計	263	316



※数値は、原則として各欄ごとに単位未満を切り捨てております。



ところ変われば育児も変わる。

世界各国の育児事情 vol.4

Thailand



■ タイは帝王切開王国!?

タイの出産事情で特徴的なのが、帝王切開率の高さです。日本での帝王切開率が5人に1人くらいであるのに対し、タイでは約8割が帝王切開で出産するというデータもあるほど。タイ人には、出産時の痛みを耐えることを美德とするような考えはなく、妊婦自らが分娩時の痛みを回避したいという理由から帝王切開を選択したり、あるいは縁起の良い日・時刻に出産をしたいという理由で、占い師などに言われた日時に合わせて帝王切開で出産することも多々あります。

そのほかにも、ベビー服やベビーベッド、哺乳びんといった新生児を迎えるにあたって用意すべきグッズは、赤ちゃんが生まれる前に準備するのは良くないとされ、生まれてから購入します。また妊娠中は、家の中で釘を打つ行為は赤ちゃんに良くないので避けるとか、妊婦が下着などの衣服に安全ピンをつけておくと、悪いものが体内に入ること防ぐことができると考えられているなど、妊娠中の過ごし方に関するタイ独特の風習も多くあります。

■ ピジョンの哺乳びん・乳首は高いシェアを獲得

共働き家庭の多いタイでは、出産後に母親がすぐに働くための施設やサービスが整っています。母親たちも、育児は保育園や両親、ベビーシッターなどに任せ（場合によっては家事もメイドに任せ）、育児と仕事のバランスをとるというよりも、切り分けて考えるというのが一般的です。また、授乳のための社会環境が十分整っていないこともあり、世界的に見ても、タイの母乳育児比率はとて低くなっています。

中所得国に該当するタイでは、所得格差も依然大きく、育児関連用品においても多くの競合他社がひしめき合い、低価格を売りにした現地企業が勢いを増してきています。そのような中、ピジョンの主力商品である哺乳びん・乳首は高いシェアを維持しており、乳首については50%ものシェアを確保しています。

世界のピジョンからこんにちは！

THAI PIGEON CO., LTD.

タイピジョン

- 設立 1990年
- 代表取締役社長 Atsushi Fukushima
- 事業内容 ベビー用品の製造
- 従業員数 446名(2015年12月末現在)

PIGEON INDUSTRIES (THAILAND) CO., LTD.

ピジョンインダストリーズ タイランド

- 設立 1997年
- 代表取締役社長 Koji Matsutori
- 事業内容 妊産婦用品、ベビー用品の製造
- 従業員数 429名(2015年12月末現在)

■ タイでは、『Pigeon Way』が非常に深く理解・浸透しています。

株主の皆さま、こんにちは。今回はタイから、2つの生産会社、THAI PIGEON CO., LTD.(以下「TP」)とPIGEON INDUSTRIES (THAILAND) CO., LTD.(以下「PIT」)をご紹介します。

1990年に創業したTPは、日本・韓国向けに哺乳びん・乳首などを、また今年創業20周年を迎えるPITは、母乳パッド、哺乳びん・乳首など計13品目を製造し、日本も含めた世界25カ国へと輸出・販売しています。20年超の長い歴史をもつ2社では、設立当初からの社員が今でも多く活躍しており、そうしたベテラン社員を中心に、ピジョングループが初めて使う原料や設備、さらには新しい製造工程などを、日本の中央研究所と連携しながら試験・評価・開発しています。また、東京ドーム1個分ほどの広さにまで増設したPITには、多品種生産を可能とする設備が整っており、さらに哺乳びんやマグマグなどの組立生産も手がけていることから、主だったベビー用品の輸出拠点としての機能もそろっています。

個の力を大きな集団の力に変え、会社を発展させていくためには、社員一人ひとりが同じ方向を向いていることが不可欠です。ここタイにおいては、『Pigeon Way』の普及活動も、非常に深い理解

をもって速いスピードで浸透しています。『Pigeon Way』で謳われている内容は、国籍・文化の違いを超えて受け入れやすく、タイでは「これを仕事に生かしたい」との要望から、社員の発案で、『Pigeon Way』を題材とした教材動画の製作・上映や、手のひらサイズの『Pigeon Way』説明書の製作・配布もなされています。

TP、PITそれぞれの高い技術力や厳格な管理体制は、タイ国内でも認められ、安全管理、無事故、エネルギーの効率的使用といった面でタイ国の政府機関から表彰を受けています。今後もこれまで培ってきた、ベビー用品に求められる安心・安全な商品づくりのための技術・ノウハウを活かしながら、取り扱いアイテムを拡充させると同時に、現地に適した商品開発やマーケティング活動の強化を通じて、タイ国内市場向けの製造・販売も拡大していきたいと思っています。



THAI PIGEON CO., LTD.
Atsushi Fukushima



PIGEON INDUSTRIES
(THAILAND) CO., LTD.
Koji Matsutori

当連結会計年度の経営成果

売上高は、海外事業や、ベビーカーカテゴリーの伸長や訪日客のインバウンド消費等による国内ベビー・ママ事業の業績拡大により、922億9百万円(前期比9.6%増)となりました。利益面におきましては、増収に加えて事業拡大に伴う生産拠点の稼働率向上などにより、売上原価率が前期比で約1.5ポイント改善したことなどで、営業利益は145億21百万円(同13.6%増)、経常利益は150億80百万円(同13.4%増)、当期純利益は101億97百万円(同20.7%増)と、それぞれ前期実績を上回りました。

国内ベビー・ママ事業

当事業の売上高は、280億53百万円(前期比14.8%増)となりました。セグメント利益は、円安などによる輸入資材費の上昇により、売上原価が増加したものの、前期実績を上回る43億83百万円(同16.8%増)となりました。当事業におきましては、2月に母乳育児中のママと赤ちゃんのための母乳栄養サプリメント「母乳パワープラス」「母乳パワープラスタブレット」を新発売、また7月に段差をラクラクと乗り越えられるベビーカー「Runfee(ランフィ)」の新色追加、12月にはやさしい乗り心地のプレミアムベビーカー「Premige(プレミージュ)」を発売し、順調に売上及び市場シェアを拡大しております。また、ダイレクト・コミュニケーションの一環であるイベントとして、出産前の方を対象とした「おっぱいカレッジ」、母子に寄り添う子育て中の母乳育児をテーマとした医療従事者向けのピジョンセミナーなどを当期において38回開催し、合計で約2800名の方にご参加いただいております。妊娠・出産・育児シーンの女性を応援するサイト「ピジョンインフォ」におきましても、商品情報の更新など、今後もさらにお客様にお使いいただきやすくなるよう、改善を進めてまいります。

子育て支援事業

当事業の売上高は67億57百万円(前期比0.5%増)となりました。セグメント利益は主に人件費等の上昇により、1億48百万円(同21.7%減)となりました。なお、事業所内保育施設につきましては4箇所の新規受託を開始し、サービス内容の質的向上を図りながら、運営を行っております。

ヘルスケア・介護事業

当事業の売上高は、介護保険制度の改定や消耗商品における競争激化が進む中、64億99百万円(前期比3.9%減)、セグメント利益は1億40百万円(同46.1%減)となっております。当事業におきましては、2015年2月に姿勢くずれを防ぎ長時間でも快適に過ごせる高齢者用車いす「アシスタイスI・II」、また4月には便臭・尿臭を良い香りに変える介護用のスプレー型消臭剤「香り革命空間用シトラスグリーン」の香り」を発売しております。引き続き、競争優位性のある新商品の投入、介護サービスの品質向上など施策実行を徹底してまいります。

海外事業

当事業におきましては、当期より韓国、台湾、香港、フィリピン、ロシア等の地域における事業の管轄が中国事業本部へ移管されたものの、売上高は252億34百万円(前期比8.0%増)となり、またセグメント利益は、55億79百万円(同12.3%増)と前期実績を上回りました。インドにおきましては、5月に現地生産工場より主力である哺乳びん・乳首の出荷が始まり、今後更なる販売・流通体制の強化を行ってまいります。また北米・欧州におきましては、主力である母乳

パッド、さく乳器やミルクバッグ等の授乳関連用品が順調に売上を拡大しております。更に、欧州では、トルコに平成29年1月新工場の設立を予定しており、生産体制を強化、またイギリスやドイツなど販売拠点の組織体制強化により事業拡大を目指してまいります。

中国事業

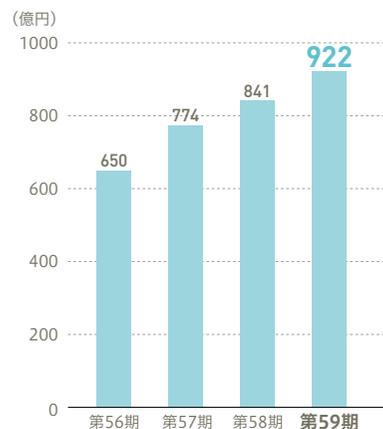
当事業の売上高は316億88百万円(前期比20.5%増)となりました。セグメント利益は、事業の積極的展開に伴うマーケティング活動などにより販売費及び一般管理費が増加したものの、85億86百万円(同14.1%増)となりました。当事業におきましては、当期より、韓国、台湾、香港、フィリピン、ロシア等の地域における事業の管轄が海外事業本部より移管されたことに加え、継続的なマーケティングおよび販促普及活動による哺乳びん・乳首カテゴリーの売上伸長により、売上高、セグメント利益ともに前期実績を上回りました。5月からは新たなベビースキンケアシリーズを発売するなど、主力の哺乳びん・乳首以外のカテゴリーへも注力しています。さらに、中国においては、インターネット販売の急速な拡大に伴う流通体制の再構築を早急に進めるとともに、販売代理店と連携した販促施策を実施するなど、事業のさらなる拡大を目指して活動を行ってまいります。

その他

当事業の売上高は12億83百万円(前期比0.6%増)、セグメント利益は、1億52百万円(同12.3%減)となりました。

主な経営指標

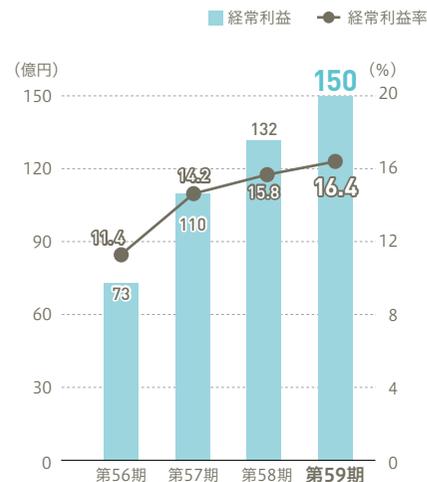
売上高



営業利益 / 営業利益率



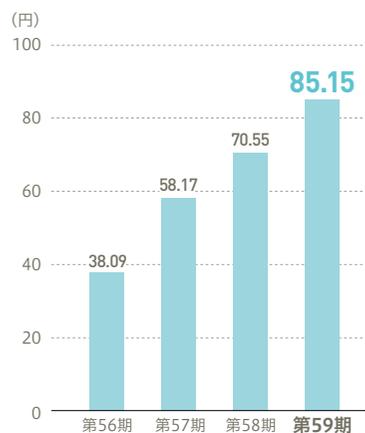
経常利益 / 経常利益率



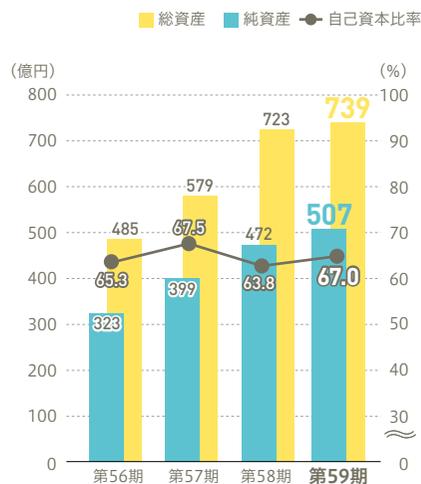
当期純利益 / 当期純利益率



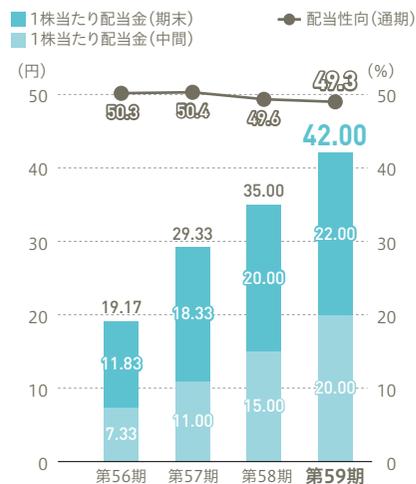
1株当たり当期純利益 (EPS)



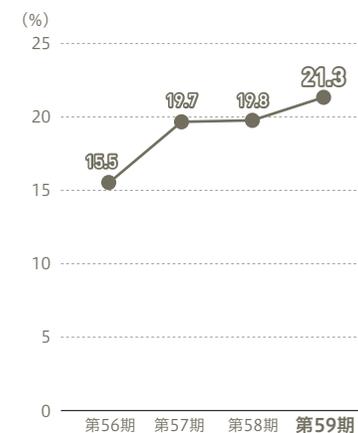
総資産 / 純資産 / 自己資本比率



1株当たり配当金 / 配当性向



自己資本当期純利益率 (ROE)



※当社は、2013年8月1日を効力発生日として、普通株式を1株につき2株の割合で、また2015年5月1日を効力発生日として、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。
上記1株当たり当期純利益、1株当たり配当金は、第56期期首に当該分割が行われたと仮定して算出しております。

トピックス

ベビーカー「Premige(プレミージュ)」新商品発表会

2015年1月の「Runfee(ランフィ)」発売により、ベビーカー市場でのシェアを急拡大したピジョンは、同年12月、ワンランク上のプレミアムベビーカー「Premige(プレミージュ)」を発売しました。商品発表会では、「ママだっこサスペンション」などの新機能や特長を紹介したほか、CMイメージキャラクターの木村佳乃さんから、実際の使い心地などについてもお話しいただきました。さらに2016年2月には、「Runfee」のリニューアルモデル「Runfee ef(ランフィ エフ)」も発売を開始しています。



「にっこり授乳期研究会」セミナーを開催

授乳期のママと赤ちゃんに携わるさまざまな専門家とともに、授乳期の課題とソリューションを考える「ピジョンにっこり授乳期研究会」が2015年12月、その活動成果を報告する発表会&セミナーを開催しました。発表会では、同研究会が実施した「授乳に関する日米中3カ国調査」の結果から浮かび上がった、日本のママの授乳期の課題や特徴を説明したうえで、その一つの解決策として、授乳の大切な5つのポイントをまとめた「しあわせ授乳サポートBOOK」(無償でHPよりダウンロード可能)を発表しました。



東証主催「企業価値向上表彰」大賞を受賞

ピジョンは、東京証券取引所が東証に上場している全企業(約3,500社)を対象に実施している2015年度「企業価値向上表彰」において、大賞を受賞しました。本表彰は、資本コストをはじめとする投資家の視点を深く組み込んで企業価値向上を目指す「企業価値向上経営」を実践している企業を表彰するものです。ピジョンは、資本コストを上回る企業価値の創造額を表す独自の経営指標である「PVA(Pigeon Value Added:みなし税引後営業利益-資本コスト)」等を重要指標に位置づけて、その向上に組織一丸となって取り組み、実際に高い成果を実現するなど企業価値向上経営を特に高いレベルで実践している点を評価され、今回の受賞に至りました。



Corporate Profile

会社概要 (平成28年1月31日現在)

設立年月日	昭和32年8月15日
事業内容	育児・マタニティ・女性ケア・ホームヘルスケア・介護用品等の製造、販売および輸出入ならびに保育事業
資本金	5,199,597千円
従業員数	本社989名 連結3,743名
本社	〒103-8480 東京都中央区日本橋久松町4番4号 TEL 03-3661-4200(代表)

役員 (平成28年4月27日現在)

取締役最高顧問	仲田 洋一
代表取締役会長兼取締役会議長	大越 昭夫
代表取締役社長	山下 茂
取締役副社長 (海外事業本部長兼中国事業本部長)	北澤 憲政
取締役専務執行役員 (経営企画本部長兼経理財務本部長兼人事総務本部長兼監査室担当)	赤松 栄治
取締役上席執行役員 (ヘルスケア・介護事業本部長兼ピジョンタヒラ(株)代表取締役社長兼国内ベビー・ママ事業本部長兼子育て支援事業本部長)	倉知 康典
取締役上席執行役員 (品質管理本部長兼開発本部長兼ロジスティクス本部長兼お客様相談室担当)	板倉 正
取締役上席執行役員 (LANSINGH LABORATORIES, INC. ... Kevin Vyse-Peacock 代表取締役社長)	Kevin Vyse-Peacock
取締役(社外)	新田 孝之
取締役(社外)	鳩山 玲人
常勤監査役	甘利 和久
常勤監査役	岩本 忍
監査役(社外)	西山 茂
監査役(社外)	出澤 秀二
執行役員 (経営企画本部長)	松永 勉
執行役員 (経理財務本部長)	牧 裕康
執行役員 (人事総務本部長)	浦狩 高年
執行役員 (開発本部長)	笠原 かほる
執行役員 (国内ベビー・ママ事業本部長)	橋本 伸行
執行役員 (子育て支援事業本部長兼ピジョンハーツ(株)代表取締役社長)	鶴 孝則
執行役員 (ロジスティクス本部長)	西本 浩
執行役員 (ピジョンタヒラ(株)専務取締役)	石上 光志
執行役員 (PIGEON SINGAPORE PTE. LTD. 代表取締役社長)	仲田 祐介
執行役員 (PIGEON MANUFACTURING (SHANGHAI) CO., LTD. 代表取締役社長)	賀来 健

主要事業所 (平成28年1月31日現在)

事業所 茨城県稲敷郡阿見町
東京都中野区

物流センター 茨城県常陸太田市
兵庫県神崎郡神河町

研究所 茨城県つくばみらい市

営業拠点 札幌・仙台・東京・名古屋・金沢・大阪・広島・福岡

次の20社を連結の対象としています。

- ビジョンホームプロダクツ(株)
- ビジョンハーツ(株)
- PHP兵庫(株)
- PHP茨城(株)
- ビジョンタヒラ(株)
- ビジョン真中(株)
- PIGEON SINGAPORE PTE. LTD.
- PIGEON MALAYSIA(TRADING) SDN. BHD.
- PIGEON (SHANGHAI) CO., LTD.
- PIGEON MANUFACTURING (SHANGHAI) CO., LTD.
- PIGEON INDUSTRIES (CHANGZHOU) CO., LTD.
- LANSINOH LABORATORIES, INC.
- LANSINOH LABORATORIES MEDICAL DEVICES DESIGN INDUSTRY AND COMMERCE LTD. CO.
- LANSINOH LABORATÓRIOS DO BRASIL LTDA.
- LANSINOH LABORATORIES BENELUX
- DOUBLEHEART CO. LTD.
- PIGEON INDIA PVT. LTD.
- PIGEON PRODUTOS INFANTIS LTDA.
- PIGEON INDUSTRIES (THAILAND) CO., LTD.
- THAI PIGEON CO., LTD.

次の1社について持分法を適用しています。

- P.T. PIGEON INDONESIA

株式の状況 (平成28年1月31日現在)

発行可能株式総数 360,000,000株

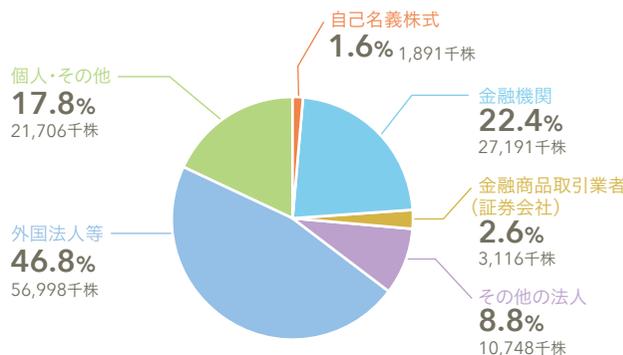
発行済株式の総数 121,653,486株

株主数 24,506名

自己株式 1,891,577株

大株主(上位10名)	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,208	6.0
仲田 洋一	4,838	4.0
バンクオブニューヨーク、 ノントリーティ ジャスデックアカウント	4,477	3.7
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	4,444	3.7
ビービーエイチフォー マシユーズアジア デイビデンド ファンド	3,806	3.2
ワイ. エヌ株式会社	3,000	2.5
上田八木短資株式会社	2,960	2.5
ビービーエイチフォー マシユーズ ジャパン ファンド	2,521	2.1
ステート ストリートバンク アンド トラスト カンパニー	2,012	1.7
ビジョン株式会社	1,891	1.6

株式分布状況(所有者別:千株)



株主メモ

証券コード 7956

事業年度 2月1日から翌年1月31日まで

定時株主総会 毎年4月

期末配当金受領株主確定日 1月31日

中間配当金受領株主確定日 7月31日

株主名簿管理人および
特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社

株主名簿管理人
事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部

同事務連絡先
(お問合せ先郵便物送付先) 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号
三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
TEL 0120-232-711
(通話料無料 平日9:00~17:00)
ホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>

単元株式数 100株

公告の方法 電子公告 <http://www.pigeon.co.jp/>
ただし、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。

ご案内

株式に関する住所変更等のお問合せおよび届出について

株主様の住所変更、買取請求その他各種手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。

特別口座について

特別口座に記録された株式に関する各種手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行各支店でもお取り扱いいたします。

未受領の配当金について

未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行各支店でお支払いいたします。

インターネットホームページでもIR情報を掲載しています。

ビジョントップページ <http://www.pigeon.co.jp/>

IR情報トップページ <http://www.pigeon.co.jp/ir/index.html>

新商品・サービスのご紹介

段差をラクラク乗り越えられるベビーカー 「Runfee ef(ランフィ エフ)」発売

段差をラクラク乗り越えられるベビーカーとして発売以来大好評いただいている「Runfee」が、その最大の特長である走行性の良さと軽量性はそのままに、「Runfee ef」としてリニューアル。お子さまの肌に直接触れるシートは、素材に高性能クッション材を新規採用し、透湿性や通気性がさらにアップし、赤ちゃんの居住性を向上させています。



「母乳実感®」哺乳びんに 新デザインが登場

哺乳びん国内シェアNo.1を誇る「母乳実感」のデザインシリーズが、ママたちの好みに合わせて選べるデザインに刷新してリニューアル発売。やさしい温もりが感じられる人気のアニマル柄、ポップな星をあしらったユニークなスター柄、カラフルでかわいいトイボックス柄をそろえました。



手軽にしっかりケアできる 『介護の口腔ケア』シリーズ

保湿剤を乗せやすいジェル溝とお口の汚れをかき出しやすい凸凹形状が特長の「ケアしてあげる スポンジブラシ」、水を使わずにお口の汚れを拭き取れる「歯みがきティッシュ くち当たりおだやかタイプ」、お口の保湿と口臭予防を兼ねた「おくちしっとりジェル」新発売。『介護の口腔ケア』シリーズは、毎日の口腔ケアを手軽にしっかりとサポートします。



コーポレートサイトリニューアル

コーポレートサイトをリニューアルしました。業績、財務、株価情報等を拡充し、さらに見やすくなったサイトをぜひご利用ください。



<http://www.pigeon.co.jp/>

表紙の絵について

当社は、未来の科学の夢絵画展「幼稚園・保育園の部」の発明協会会長賞ならびに優秀賞を受賞された幼稚園・保育園に対して、当社創業者の故仲田祐一が幼児の創造性育成のために公益社団法人発明協会へ寄贈した基金により「仲田祐一奨励金」を毎年協会を通して贈呈しております。表紙の絵は同協会のご協力を得て掲載しているものです。

『フラワーメロディ自転車』 千葉幼稚園(青森県) 伊藤 帆乃花ちゃん
自転車のハンドルから好きな歌が流れてきて、この自転車が通った道はきれいなお花が咲いていくよ。見ている人も乗っている人も楽しい気持ちになるよ。



この報告書は環境保全のため、環境に優しい植物油インキを使用して印刷するとともに、針金を使わないエコ製本を採用しています。

